

スキルス・ラボ、シミュレーターの利用

	医学部での利用	市中病院での利用
学習者	(主) 学習者は医学生、人数が多い	(主) 学習者は研修医、人数が少ない
部屋のサイズ	広い場所が取れる	場所が狭い
狙い	医科学に重点をおきたい	技能に重点をおきたい
効果	学習の能動性を高める	医療事故の防止
具体例	<p>低学年から自由に入出入りさせる 正式にカリキュラムで学ぶ内容は、文字情報が多く、初心者には、ピンと来ない。 一度でも、現物に近いものを事前体験しておく。</p> <p>自学自習の部屋にする 何故?と思った時に気軽にモデルを見る環境作り。</p> <p>模擬診察やロールプレイのカリキュラムで、臨場感溢れる場や小道具として利用。</p> <p>臨床実習で、説明の補助としてシミュレーターを使う。</p>	<p>チーム医療、救命救急の シミュレーション訓練</p> <p>シミュレーターを使って、 医療技術の事前の練習</p> <p>シミュレーターを使って、 Teacher's Training の場 すなわち研修指導医の訓練</p>
シムマン		医師が、病態生理の熟考に使える
マイクロシム	学生が、ゲーム感覚で医療に親しめる	
問題点	<p>従来の科目（解剖学、生理学、生化学など）の実習には、多大な教育資源をつぎ込む。 しかし、スキルス・ラボのような新参者への理解は、得られにくい。</p>	<p>医師たちは日常業務に忙しすぎて、新たなメニュー開発に興味をふり分ける余裕がない。</p>